

6 2021
月号



一般展示

「梅雨って憂鬱…

だけど心は前向きに！」

連載Comic

「宮前みやたくんのYA日記⑯」

YA展示

「キュンキュンしたい！」

古典展示

「紙幣の肖像」





宮前図書館スタッフコラム



ステイホームなどの新しい生活の中で、本を読む機会が増えた方も多いのではないでしょうか。昨年～今年にかけて、宮前図書館に加わった新しいスタッフたちから、おすすめの本を紹介します。

『押絵と旅する男』江戸川乱歩 / 著 立東舎 YA 913.6 エ

「あれらは、生きて居りましたろう」……

魚津へと蜃気楼を見に行った帰りの汽車で出会ったのは、大きな押絵を抱えた老人であった。老人が大事そうに抱える押絵には、優しく微笑む美女と、その傍らでなんとも苦しそうな表情を浮かべる白髪頭の男がいた。押絵が生きていたとは一体どういうことなのか？ 江戸川乱歩の短編小説を、人気イラストレーターしきみの絵とともに美しく綴る。（メダカの女王）



『植物はなぜ動かないのか』稻垣栄洋 / 著 筑摩書房 YA 471 イ

「逆境は敵ではない、味方である。」植物は、幾多の逆境を乗り越えて進化を成し遂げてきました。自ら動くことができない植物にとって、逆境やストレスは単に耐え忍ぶ為のものではありません。ただ生えているだけのように見える植物が、いかにして自然界を生き抜いて来たのか。ときには逃げることも戦略のひとつだったり…。さまざまな強さを見せてくれる植物たちの生き様が、本当の強さとは何なのかを問いかけてきます。（M）



『消しゴム』ロブ＝グリエ / 著 中条省平 / 訳 光文社古典新訳文庫

言葉が本来持つ力を疑い、またおもしろがって、小説という形で試した作品。翻訳されたものではあるが、作品から受ける違和感は、異文化というものでは括れない、誰もが無意識に抱えている言葉の奥のイメージを追求したものである。

どのような作品かは、何気なく冒頭を読んだだけでわかるだろう。私たちは小説に限らず、言葉を使って物語を紡いできた。その人間の性のようなものも感じると思う。（S）



一般特集

6月

今月のテーマ

梅雨って憂鬱…だけど心は前向きに！

心がポジティブになれるような本を集めました。

展示期間：6月4日（金）～6月30日（水）

『あん』

ドリアン助川/著 ボプラ社 913.6 トリ

千太郎のどら焼き店のバイト求人を見てやってきたのは、70歳を過ぎた手の不自由な女性・吉井徳江だった。

徳江のつくる「あん」のうまさに舌をまく千太郎は彼女を雇い、店は繁盛しはじめめるのだが…。限りなく優しい魂の物語。



『イエナカ菜園』

鈴木あさみ/著 日東書院 626.ス

小さなカッปやタッパーなどを活用し、おうちの中で野菜を育てるイエナカ菜園。ヘルシー野菜のスプラウトから本格的に育てるミニトマトやバブリカまで、全34種の野菜やハーブの作り方を紹介。収穫野菜のレシピ付き。雨で外になかなか出られない時は、おうち菜園で癒されたいですね！ しかも美味しいというおまけ付きなのです。

『中島ハルコの恋愛相談室』

林真理子/著 文藝春秋 913.6 ハヤ

この小説のヒロインである中島ハルコ（52才）のすがすがしいまでの厚かましさ、読んで本当に元気が出ます。なお、文春文庫としては『最高のオバハン』がタイトルの頭について発売されています。続編に、『中島ハルコはまだ懲りていない』があります。



ヤング Young Adult アダルト 特集 6月

今月のテーマ →→→ 「キュンキュンしたい！」

雨が降っても、いろんなものにキュンキュンしたい♥

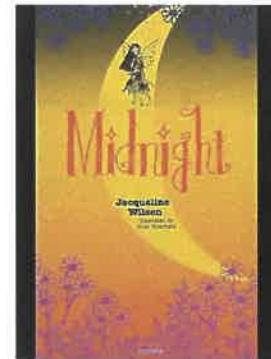
展示期間:6月4日(金)~6月30日(水)

『ミッドナイト 真夜中の妖精』

ジャクリーン・ウィルソン／作 理論社 ★933ウ

ヴァイオレットは妖精好きの孤独な少女。
血のつながらないハンサムな兄とは微妙な関係。ある日、美しい娘が転校してきて、この兄妹に興味を持ち始め…。

現代のフェアリーテイル。



6月の新着本

『今、きみの瞳に映るのは。』

NEW!

いぬじゅん／著 実業之日本社 ★BGイ

地元テレビ局の番組の主役に抜擢された一ノ瀬美姫。それは高校を舞台にしたリアリティーショーで、関係者全員がコンタクトカメラという小型機械を瞳に入れ、視聴覚の全てを記録するという実験的な企画だったのだが…。



宮前みやたくんの YA 日記⑯

高校生の宮前みやたくんと仲間たちのゆる～い生活を4コマで！
雨のシーズン突入にちょっとアソビのアレックスちゃんですが…？



お知らせ

YAみやたくんの

COMIC BOOK

2巻が出来ました!!

カウンターで配布しているよ。
チェックしてね!!



徹底した合本主義を貫き、
日本近代資本主義の父と
謳われる渋沢栄一。
新しい紙幣の顔に迫る。

『渋沢栄一自伝
雨夜譚・青淵回顧録(抄)』

渋沢栄一/著 角川ソフィア文庫
BYシ

倒幕を策した青年は、幕臣、
新政府高官という転身を経て、
いかにして実業界に道を見出したのか、その実像に迫る2つの
自叙伝を収録。

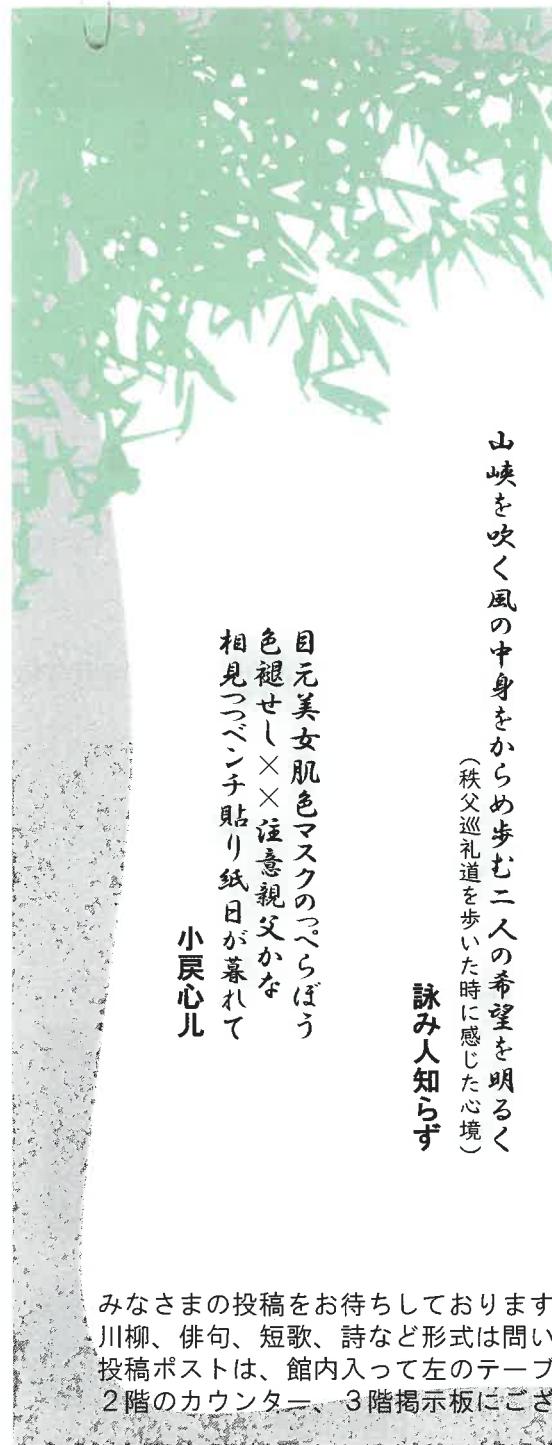
今月の
テーマ

紙幣の肖像

古典特集

六月

宮前図書館分担収集
明治以前の
日本文学



風董るカツコーと鳴く信号機
スケボーの少年一人子供の日
景桜や久席多き合唱団

千楓



みんなの
広
場

群竹の 下で仔の子 背比べ
ジヤンプして 背比べする マサイ族
いつさつさ

山峠を吹く風の中身をからめ歩む二人の希望を明るく
(秩父巡礼道を歩いた時に感じた心境)

詠み人知らず

目元美女肌色マスクのべらぼう
色褪せし××注意親父かな
相見つべんチ貼り紙日が暮れて

小戻心儿



お気軽に
どうぞみや!

みなさまの投稿をお待ちしております。
川柳、俳句、短歌、詩など形式は問いません。
投稿ポストは、館内入って左のテーブル、
2階のカウンター、3階掲示板にございます。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 休館日	4	5
6 ★	7	8	9	10	11	12
13 ★	14	15	16	17 休館日	18	19 フラワー アレンジメント
20 ★	21	22	23 ☺	24	25	26
27 ★	28	29	30 ☺			

★の日は、5時に閉館いたします。『☺』の日は、おはなしきいの日です。
今後、予定が変更になる可能性がありますので、ご注意ください。

連続

~La fleur mensuelle~

6月

季節の花を
月ごとに
紹介します

インパチエンス

～アフリカホウセンカ～

初夏から秋まで花を咲かせるインパチエンス。草丈15~40センチ、絞り・2色花・八重咲・斑入り葉種などがあり、赤・ピンク・白など様々な色で花壇を彩ります。日光を好みますが、夏は強い直射日光は避け、半日陰で風通しの良い場所に置くと良く育ちます。

その名はラテン語の「impatient (がまんできない、短気)」が語源で、実が成熟するとちょっと触れただけでも破裂してタネをまき散らすことにちなんでいます。



花言葉「鮮やかな人・短気・わたしに触れないで」



フォロー
してね!

Twitter
@MiyamaeLibrary

〒168-0081
杉並区宮前5-5-27
TEL: 03-3333-5166